



## 玻名城の郷ビーチクリーンアップ

日興シティーホールディングス沖縄事務所は、世界中のシティグループオフィスが協力して清掃活動を行う「Global Community Day」の活動とNPO法人沖縄O.C.M.A.Zの展開する「マイビーチプロジェクト」の一環としてサザンリンクスビーチリゾートの清掃作業を11月8日、玻名城の郷ビーチで行いました。

清掃には約200人の家族連れや外国人の方々の姿がみられ約2時間あまりをかけてビーチといったいのゴミを収集しました。また、清掃終了後には、参加者の親睦を図るためにバーベキューも行われました。

## 福の木まつり たくさんのお店で賑わう

今年で4回目となる福の木まつりが11月9日、具志頭の福木通り近くにある虹電商店・パラダイスカフェの敷地内などで行われました。町内の雑貨や飲食店などを営む人たちが地域交流を図ろうと企画されたもので町内外からラーメン屋やたこ焼、焼きとり、雑貨店などたくさんのお店が敷地内にところせましと並びました。まつり後半には琉舞、太鼓、獅子舞などの琉球芸能やひきかたりライブが、敷地近くにある具志頭歴史民俗資料館で披露され、まつりを訪れたお客さんを楽しませました。

同まつりの実行委員長の亀谷さんは、「お店を構えているだけでは、交流をはかれない。だったらみんなが集まる場所をつくろうと思い企画しました。今後も継続して定着していきたい」と話しました。また、名護から雑貨店を出店してきた山口レイコさんは「福木が並びきれいな場所にお店を出展できてうれしい」と笑顔で訪れた人たちを出迎えていました。



▲名護からお店を出店しに来たスタッフ



▲祭り会場に立てられたインディアンテント(ティピー)

## 玻名城文庫 優良読書グループとして表彰



▲玻名城文庫に通う児童たち

玻名城文庫が11月4日、県読書運動推進協議会から優良読書グループとして表彰されました。同文庫は、1965年に日本政府援助で贈られた図書をともに1969年より公民館で貸し出しを始めたのがきっかけでした。当時は、教員を退職した仲村春子さんを中心に有志の方々と運営していました。現在は子ども会の人たちに引き継がれています。毎週日曜日に図書の貸し出しを中心に、読み聞かせ・紙芝居などを行い夏休みには朝読みを行うほか、文庫とおした地域交流なども行っています。今回40年近い長期にわたる地道な活動と子どもたちを地域で育てる取り組みが評価されて表彰されました。



## 都市型ロープレスキュー 島尻消防に実践配備



▲都市型ロープレスキューを実践

島尻消防、清掃組合消防本部が11月5日、当本部で都市型ロープレスキュー部隊運用式を行いました。都市型ロープレスキューとは、山岳救助の資機材を日常的な救助に利用した救助法です。軽量で安全性も高く、機能性に優れており、少人数の部隊員の救助法の一つと認識して、救助事業によって選択されることがあります。当本部では、平成17年11月から資機材を試験的に購入。約3年の期間をかけて、あらゆる検証を行い、従来の資機材との比較の中で都市型ロープレスキュー用資機材の省力化・軽量化について優位性を認めました。そして、耐久性・安全性についても同等以上であると救助隊員が判断し11月5日をもって、都市型ロープレスキューに使用する資機材一式を救助作業に実践配備することになりました。運用式では、県内の消防関係者などが視察に訪れる中、ブース見学や訓練展示を通して都市型ロープレスキューが紹介されました。



## ソーメン流し

具志頭児童館に通う児童たちが8月22日同館でソーメン流しを体験しました。次から次へと流れてくるソーメンに歓声が上がり、児童たちは楽しそうにお箸ですくっていました。いつもと違うソーメンに児童たちは、満足げな様子。夏休みの思い出となる一時を過ごしました。



▲ソーメン流しを体験



## おやつ作り

ぐしかみ児童館では8月7日、同館の菜園で栽培したピーマン・ゴーヤ・なすを材料にヒラヤーチーのおやつを作りました。その日は小学生の女子7人が集まり、厚生員のアドバイスを受けながら、ヒラヤーチーづくりに挑戦していました。普段ゴーヤが苦手な児童も自分で作ったゴーヤ入りヒラヤーチーは、特別な味。みんなおいしそうに食べていました。



▲ヒラヤーチーづくりに挑戦した児童たち



▲委嘱状を受ける上原司さん(写真右)

## 県税事務所職員が町の徴収業務を併任

県と町が連携して税収の向上を図るために11月から来年1月の3ヶ月間、県税事務所の職員が町税務課職員として併任し個人住民税の徴収業務に携わることになりました。それを受けて、11月4日、八重瀬町役場で八重瀬町職員短期併任委嘱状交付式が行われました。八重瀬町に派遣された上原司さんは、「税源が地方に移譲され、今後どのように税収を確保するかが重要になってくる。これまでのノウハウを活用しながらも税の平等性・公平性という観点から滞納整理などの業務に関わっていきたい」と話しました。